

名古屋大学 オープンレクチャー2019

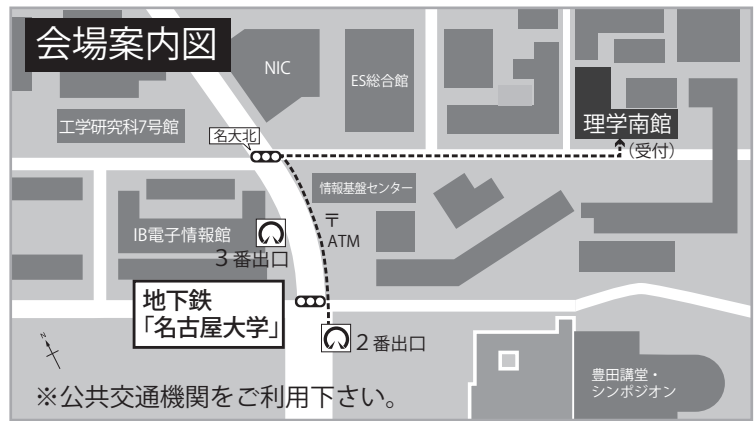
3/21 (木・祝)

入場
無料 要事前
申込み

(受付 13:30 ~) 場所：理学南館 坂田・平田ホール

14:00 ~ 14:20 名古屋大学概要説明 ほか

14:30 ~ 16:00 公開講義 (各講義室：当日ご案内します)



反応を自在にあやつる 触媒づくりのはなし

石原 一彰
工学研究科・教授



触媒とは、それ自体は変化せず、少量で反応を加速する物質です。新しい触媒の開発は、医薬品製造や環境問題の解決など、さまざまな産業で必要とされています。化学反応を自在にあやつり、欲しい物質を得るための触媒研究の話をご紹介します。※講義終了後、希望者は研究室見学 (16:30 終了予定) あり。

この研究は、科学研究費・基盤研究 (S)「高機能酸塩基複合ナノ触媒の開発」、他の助成を受けています。

南アフリカでバイオ燃料を つくるのはなし

神田 英輝
工学研究科・助教



微細藻類という非常に小さな植物があります。ミドリムシやクロレラなども微細藻類の一種で、光合成の能力が非常に高いのが特徴です。南アフリカでこうした小さな植物を育ててバイオ燃料などに使う取り組みについて紹介します。

この研究は、地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム (SATREPS)「水処理システムと湿式抽出法による藻類の高効率燃料化の融合と実用化」、他の助成を受けています。

植物の体の中の 会話のはなし

榊原 均
生命農学研究科・教授



植物は過酷な環境にも黙ってじっと耐える、という印象を持っているかもしれませんが、体の中では様々な「会話分子」を使って、おしゃべり (相談) をしながら自身の育ち方を決めています。植物は案外おしゃべりだという話をします。

この研究は、研究大学強化促進事業・最先端国際研究ユニット「最先端情報分子・植物最適行動制御ユニット」、他の助成を受けています。

脳の発達と病気のはなし

辻村 啓太
高等研究院/医学系研究科・特任助教



私たちの脳は様々な仕組みによって決まった規則で発達します。この秩序立った脳発達に変化が生じると病気が発症すると考えられています。脳発達に関わる遺伝子の働きとその遺伝子の変化 (変異) によって引き起こされる病気についてお話しします。

この研究は、研究大学強化促進事業・若手新分野創成研究ユニット「精神障害の共通病態を標的とした創薬研究ユニット」、他の助成を受けています。

娘たちのいない村の はなし

堀江 未央
高等研究院/人文学研究科・特任助教



2007 年にはじめて中国西南端の雲南省を訪れたわたしが見たものは、結婚適齢期の女性が全くいない少数民族の村の姿でした。中国の急激な経済成長と一人っ子政策の影ともいべきヨメ不足について、フィールドワークという人類学の研究手法を踏まえながらお話しします。

この研究は、科学研究費・若手研究 (B)「経済格差に基づく女性の連鎖的結婚移動と家族に関する地域間比較研究」、他の助成を受けています。

温室効果ガス CO₂ を 回収するはなし

町田 洋
工学研究科・助教



地球温暖化を防ぐための対策として、発電所の排ガスなどから CO₂ を分離回収する技術が注目されています。この技術を実用化するには効率よく CO₂ を分離する必要があります。温暖化の背景から CO₂ 回収の最前線まで丁寧にお話しします。

この研究は、戦略的創造研究推進事業 ALCA「相分離型省エネルギー CO₂ 吸収剤の開発」、他の助成を受けています。

お申し込み方法：HP「<http://www.aip.nagoya-u.ac.jp/public/openlecture/index.html>」から、希望の講義を一つ選択し、必要な情報をご登録下さい (※先着順)

お問い合わせ：名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

052-747-6527

E-mail: outreach@aip.nagoya-u.ac.jp

